

クリニカルパスウェイ
前十字靱帯再建術を受ける患者さんへ

平成29年5月作成
東京慈恵医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後7日目 (1週間)	術後10日目	術後11日目	術後2週目	術後3週目
日時	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	☐ 手術の説明を受け理解できる ☐ 中止する薬がわかる ☐ 手術前の準備ができる	☐ 手術の必要性が理解でき、手術に同意できる ☐ 術前経口補水・飲水の必要性・方法が理解できる	☐ 麻酔・手術に対しての不安が最小限である ☐ 傷の痛みや他の痛みの表出ができる	☐ 下肢の痺れや冷感がなく、痛みが和らぐ ☐ 深部静脈血栓症の徴候がない ☐ 車椅子乗車ができる ☐ 下肢を無理に伸展させない	☐ リハビリを積極的に取り組む事ができる ☐ 痛みがコントロールできる	☐ リハビリを積極的に取り組む事ができる ☐ 痛みがコントロールできる	☐ 疼痛コントロールがつく ☐ 膝の屈曲が90度までできる ☐ 深部静脈血栓症の徴候がない ☐ 傷の感染がない	☐ サークル歩行ができる	☐ サークル歩行ができる	☐ 杖歩行ができる	【退院基準】 ☐ 杖歩行にて階段昇降ができる
食事	●制限はありません ●治療の有無の確認	●手術前日の夕方まで食事ができます ●経口補水または水を20時～翌朝6時まで飲みます 	●手術当日は食べる事ができません ●指示のない限り朝6時以降は何も飲んではいけません	●朝食のみ全粥食、昼から通常の食事ができます							
活動	●制限はありません	●制限はありません	●術後はベッド上安静です ●足首など動かせる部分は動かしてかまいません	●車椅子に乗る事が出来ます 	●CPM 0～90度からスタートします ●装具を装着します ●起立・歩行訓練が始まります	●リハビリ室で許可が下りたら、松葉杖などによる免荷歩行が可能となります				●CPM 0～120度	●手術した足に体重の1/3の重さをかけることができます。その後は痛みに応じて、先生の指示で荷重を増やしていきます
検査 処置	●採血・検尿・レントゲン・心電図・肺活量の検査があります 	●手術前に膝の動きを調べます ●必要に応じて血液検査や整形外科以外の診療科の診察があります	●弾性ストッキングを履きます(外す許可があるまで履いてください)	●随時、採血検査やレントゲン撮影があります				●傷の抜鉤があります	●傷のチェックがあります		
薬	●持参薬を確認します ●抗凝固剤の有無を確認します	●持参薬の確認をします	●麻酔科医の指示で内服薬の調整をします ●手術後に点滴があります ●疼痛時は鎮痛剤または座薬を使用します	●医師の指示のもと常用薬の内服が再開します ●朝・夕に抗生剤があります	●朝・夕に抗生剤があります 						
清潔	●制限はありません	●制限はありません	●術後は、場合によって、尿の管、足に痛み止めの管が入ってきます	●尿の管を抜きます ●看護師が身体を拭く事など着替えを手伝わせてもらいます						●傷に問題がなければ医師よりシャワーの許可が得られます 	
指導 説明	●入院生活と手術についての説明があります	●入院生活と手術についての説明があります ●麻酔科医師より麻酔内容について説明があります ●手術後の訓練の説明をします ●薬剤師が薬について説明します	●手術後、主治医より手術結果について説明があります	●リハビリ科医師の診察があります	●器械で膝を曲げるための訓練を始めます(CPM) ●リハビリ室での訓練が始まります						